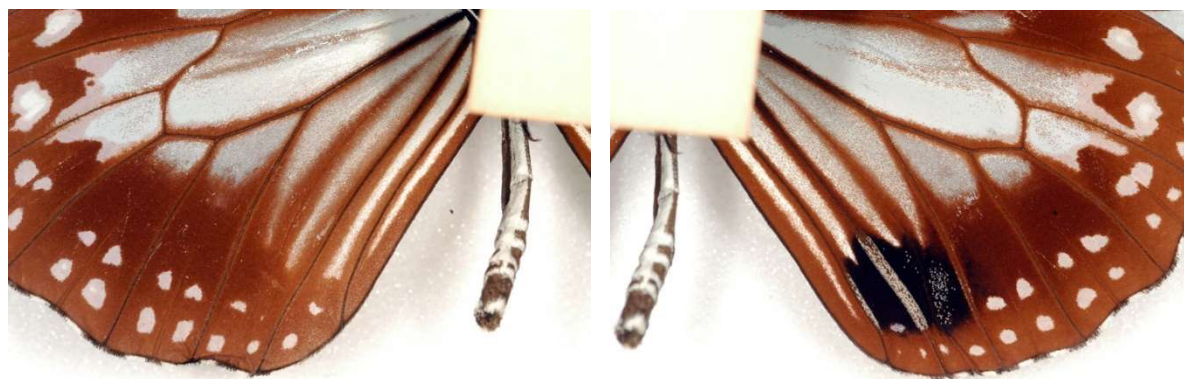


アサギマダラの雌雄モザイク（ギナンドロモルフ）

雌雄モザイクとは、生物においてひとつの個体の中に雄の特徴と雌の特徴を持つ部分が、明らかな境界を持って混在していることをいいます。非常に珍しい現象ですが、アサギマダラの場合、マーキングするときに稀に見つかることがあります。



はねの表（左写真）と裏（右写真）です。左ばねが雄、右ばねが雌です。左ばねに雄の特徴である黒い紋が見えます。そのほかにも、少しずつ斑紋が異なります。



左右のはねの裏面を拡大したものです。違いがより一層明らかです。



尾端を拡大したものです。中央で半分に分かれていて、右に雄の生殖器、左に雌の生殖器が見えます。

標本提供：大阪市立自然史博物館

写真提供：村上 豊 氏